



おきむら

## 興村脳神経外科クリニック通信

＜第46号＞ H28. 10月

(毎月15日発行)

### ◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。  
予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。  
検査項目等詳細は、別紙“健康診断のご案内”をご覧ください。

※H28年3月1日より料金が  
変わりました

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第46号をお届けします。バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/>

皆様に支えられ開院5周年です。ありがとうございます。開院当初よりはだいぶ仕事をさせていただいているような気がしますが、まだまだ経営状態は「安全」とは言い切れません。皆様から「信頼」を得られるよう次の5年も頑張る所存ですので宜しくお願い致します。さて、最近の話題は豊洲市場の「安全」性に伴う市場移転問題ですね。小池知事は「安全」が「保障」されるまでは移転は無期延期とおっしゃっています。しかしながら、この世には100%の「安全」「保障」など存在しないような気がします。まして問題がここまで来てしまうと何をもって「安全」「保障」とするかは少々難しいと思いませんか？だからこそ「説明」に対する「信頼」が重要なのだと思います。東京都が失った「信頼」の代償はかなり大きいと言わざるを得ませんね。

さて今月の話題は『安全』と『信頼』です。

医療の世界においても時折『信頼』を失うような悲しい出来事が発生し、訴訟などが起こります。幸いにして個人的にはそういう問題に遭遇したことはありませんが、私に対して口に出せないだけで嫌な思いをしてきた患者さんはいらっしゃるはずであるという前提で自省するよう努力しています。患者さんは医療に対して当然ながら『安全』の『保障』を求めます。しかし、残念ながら医療においても100%の『安全』『保障』は存在しません。インフォームドコンセントという言葉がありますがご存知ですか？医療行為に対して医療従事者は患者さんに対して十分な『説明』を行い、治療への同意を得るといような意味で使われています。ところが現実にはこのインフォームドコンセントが画一化された文書に署名をすることのみにより終わらされていることがままあるようです。これが全てだとは言いませんが、この辺りが医療への『信頼』を損ねる原因の一つのような気がしています。私自身は同じ医療内容を『説明』するにしても患者さんの状況により、その表現方法を変えるように気をつけています。100%の『安全』『保障』がない医療行為を患者さんに『信頼』していただける『説明』ができる、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

インフルエンザ予防接種の  
予約を承っております♪  
詳細は受付まで  
お問い合わせ下さい。

### ◇当院からのお願い◇

- ◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。  
70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。
- ◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。
- ◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック

